



## あすなる農園の作業

6月のお天気続きの6日・7日と麦刈りをしました。いよいよ収穫です。まだところどころに青い麦の穂がみられましたが、皆一緒に刈り込みました。昔ながらの足踏み脱穀機をガーコン、ガーコン気持ちよいリズムで回しながら、穂をあてるとバラバラと音を立てて実が取れて山になって行きます。刈って一日置いておいたものはやはり脱穀がスムーズにいくようです。来年は一日干してから脱穀にしようとの反省もありました。稲刈り鎌の使い方の指導があったり、隣の畑の大きな大根を頂いたり、イチゴ狩りで一休みし、甘くて大きなイチゴで又元気になったり、手を動かしながらお母さん方とのコミュニケーション作りと大忙しです。残念なのは子供たちの参加がないことでした。



つぎに唐箕にかけました。

唐箕(とうみ)は、穀類の  
初穀と実を分別する道具

③すると、ここから麦の初が飛び出し、軽い初穀は遠くに飛び、重い実はずぐ下に落ちるというわけで



①この中に脱穀した麦を入れます

②ここをグルグル回します

④麦の実がここに落ちてきます

## 6月研修会

6月27日(水)あすなるの家で座間市障害福祉課のケースワーカーの方を講師にお願いしてスタッフの力量向上の学習会を行いました。

かねてから、懸案であったケースのカンファレンスを6月18日(月)に関係機関で行なったのを受けて、今後の活動をどのように進めて行くか考える知識・情報を得る機会としました。



私たち主婦にとっては、日頃の活動を客観的に専門的な見方を学ぶ事が出来ました。

親切だけでなく余裕を持った対応の仕方や、相手に質問するにも、理解する事と同時に相手に考えさせる場を持たせる事の大切さなどが印象に残りました。今後も学習やカンファレンスなどの機会が大切だと思う研修会でした。

